

参院選・市議選に向けて決意 新たに！「新春のつどい」

日本共産党
奥州市委員会

高橋さんは「新しい国会で何が変わったか」と切り出し、「自民・公明だけでは予算も法律も通らない。憲法改悪なんて口が裂けても言えなくなった」

新しい政治プロセスが始まった

高橋ちづ子さん

開会の前に参院選予定候補のはたやま和也さんを紹介するビデオメッセージが上映されました。主催者挨拶に続いて、高橋ちづ子さんが挨拶しました。



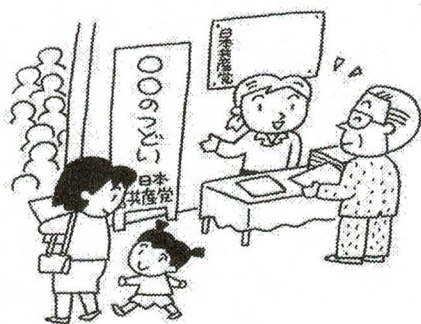
高橋ちづ子 衆院選予定候補

日本共産党奥州市委員会（千田みつ子委員長）は、2月1日、衆院選東北ブロック比例代表選挙予定候補者である高橋ちづ子さんを招いて「新春のつどい」を開催しました。

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049



「これが選挙で出した結果、成果なのです」と強調。「しかし、去年の臨時国会で維新と国民民主が賛成して補正予算を通した」「こういうことが続くかー維新も国民民主だって毎回自民党応援では、野党でいられなくなる。夏には参議院選挙がある。それぞれがドキドキしていると思います」と述べました。

さらに、高橋さんは「裏金問題をもこのままにしては置けない、ということ、予算委員会に安倍派の会計責任者を参考人

江刺地域でも盛大に 「新春のつどい」

2月2日、江刺地域でも「新春のつどい」が開催されました。参加者30人のうち、13人が後援会員でした。来賓として、千田みつ子党奥州市委員長、今野裕文党奥州市議団長、瀬川貞清奥州市議、佐藤美雪奥州市議も参加しました。

k地区委員の司会で、女性後援会のSさんが開会の言葉、千葉敦奥州市議が主催者挨拶をおこないました。江刺愛宕のある集落の皆さんは毎月1回行っている飲み会の2月の例会を、この新春のつどいに



決意を込めた万歳三唱

合流することに決めたそうです。地域の皆さんは「この例会はコロナがあっても欠かしたことがない」と自慢しています。「中締め」が行われた後からさらに盛り上がり、千葉敦議員の活動実績が、後援会員の皆さんから次々と報告される場面もありました。飲み会なのに、学術的な内容で深まるときもありました。最後に、参加者の要望もあって、万歳三唱で締めくくりました。

招致することを野党側が求めた。そうしなかったら予算委員会を開かないぞ、と言った。その結果として、予算委員会の最初に3日間、総理と全閣僚が出席しての基本的質疑、その後十分時間を取った集中した審議、会計責任者も呼ぶことが多数決で決まった。その際、与党側の理事が数の力で決められたことは本当に悔しい」と発言したことに触れ、「さんざん数の力で悪法を決めてきたお前たちが言うのか」と感想を述べました。

さらに高橋さんは「本会議の

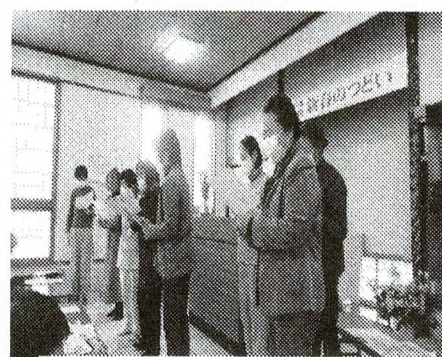
代表質問で田村智子委員長が、すべての政党・会派の皆さんに、企業団体献金禁止に踏み出そうではありませんか、と呼びかけた。そうしたら、かつてなく拍手が多かった」ことも紹介しました。

日本共産党奥州市議団が

決意表明

「新春のつどい」ではこの後、日本共産党奥州市議団の佐藤美雪、瀬川貞清、千葉敦、菅原明の各市議から参院選・衆院選・奥州市議選に向けての決意表明

が行われました。今野裕文議員団長は議会の用務があり参加できませんでした。日本共産党後援会長の穴戸春雄さんの講話、女性後援会による替え歌の披露などがあり、「つどい」は、和やかな中にも決意あふれる集会となりました。



「かたつむり」のリズムで替え歌を♪